

1 単元名 バスケットボール

2 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームが入り交じり、パスやドリブルを使って攻めたり、味方と協力して相手の攻撃を防いだりして、ゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 (男子23名 女子13名 計36名)

A 運動の楽しさの体験状況

① 体育の学習は好きですか？

大好き	好き	嫌い	大嫌い
20名	12名	3名	1名
・体を動かすことが好きだから	24名	・得意ではないから	3名
・楽しいから	3名	・運動することが嫌いだから	1名
・できないことができたらうれしいから	2名		
・みんなで力を合わせられるから	2名		
・好きな種目があるから	2名		

② バスケットボールというボールゲームをやりたいですか？

とてもやってみたい	やってみたい	やりたくない	とてもやりたくない
20名	10名	2名	4名
・楽しいから	18名	・ドリブルが嫌いだから	1名
・みんなと一緒にプレーしたいから	4名	・ルールがわからないから	1名
・ボールを扱うから	5名	・ケガをしそうだから	1名
・たくさん動けるから	1名	・ボールが回ってこないから	1名
・うまくなって楽しみたいから	1名	・苦手だから	1名
		・嫌いだから	1名

③ バスケットボールで楽しかったとき、楽しくなかったときはどのようなときですか？

楽しかったとき	楽しくなかったとき		
・シュートが決まったとき	20名	・ボールがこないときや個人プレー	15名
・みんなと協力しているとき	10名	・ルール違反があったとき	8名
・パスをもらったとき	6名	・失敗して味方から責められたとき	7名
・アシストしたとき	3名	・なし	4名
・敵をかわしてパスを回したとき	1名	・最初から最後まで	2名

・応援してる時	1名	・点を取られた時	1名
・なし	1名	・相手とケンカした時	1名
		・ルールがわからない時	1名

B 運動の楽しさを求める学びの習得状況

① バスケットボールの学習で自分に合ったためあてをもって学習できますか？

毎回できる	できる	自信がない	できない
9名	20名	6名	1名

② 学習を進めていく中で、困ったときはどうしますか？

・友達に聞く	12名	・努力する	1名
・先生に聞く	9名	・アドバイスする	1名
・友達に聞いてわからなかったら先生に聞く。	9名	・練習する	1名
・自分で工夫する	1名	・教え合う	1名
・仲間と一緒にがんばる	1名	・話し合っ、だめならじゃんけん	1名

③ だれとでも協力して学習を進めることができますか？

できる	仲のよい友達ならできる	自信がない
25名	9名	2名

④ チームのみんなが楽しめるルールやチームの作戦を考えることができますか？

毎回できる	できる	自信がない	できない
8名	17名	9名	2名

⑤ 友達のよいプレーをほめたり、友達にアドバイスしたりできますか？

毎回できる	できる	自信がない	できない
9名	19名	7名	1名

⑥ バスケットボールをするにあたって、大切にしたいことは何ですか？（自由記述）

・チームワーク	18名	・ルールや作戦	1名
・みんなが楽しめるようプレーにする	10名	・勝負にこだわらず楽しめるようにやる	1名
・声をかけて盛り上げる	4名	・がんばって練習する	1名
・友達を思いやる	3名	・できるだけたくさんボールをもらう	1名
・自信をもつ	2名		

⑦バスケットボールの学習後にどんな自分になっていきたいですか？（自由記述）

・思いあって協力し合える自分	8名	・ルールを知りたい	1名
・バスケットボールがうまい自分	6名	・声を出してみんなを引っ張る自分	1名
・みんなともっと仲よくなっていたい	6名	・めあてを大切にする自分	1名
・みんなにアドバイスができる自分	2名	・自信をもてる自分	1名
・バスケットボールが好きな自分	1名	・ドリブルができる自分	1名
・自分のやったことを反省する自分	1名	・わからない	1名
・みんなをまとめる自分	1名	・このままでいい	1名
・あきらめず楽しめる自分	1名		

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況

[考察]

A 運動の楽しさの体験状況について

本学級の子どもたちの多くは、体を動かすことが好きであり、体育の授業を楽しみにしている。他教科においても意欲的であり、与えられた課題に前向きに取り組む姿勢が身に付いている。一方、めあて学習の経験が少なく、運動に対する苦手意識から体育が嫌いだと感じている子が4名いる。

バスケットボールに関しても同様であるが、消極的な子どもの数は2名増えており、バスケットボールに対して不安や恐怖心を理由に挙げている。また、バスケットボールが楽しかったときとしては、「シュートが決まったとき」が過半数以上となっており、それに次いで「みんなと協力しているとき」としている子が多かった。楽しくなかったときとしては、「ボールがこないとき」や「味方から責められたとき」、「ルール違反があったとき」が多く挙げられている。

よって、まずは「みんながボールに触れ、シュートを決めることができる」状況を体験させることが本学級でバスケットボールを楽しむために重要であると考えられる。さらに、ルールをわかりやすく提示することや同じチームや相手チームへのマナーを守ることも必要となってくる。そのために、ルールや学習の道すじ等の手だてを工夫して、クラス全員がバスケットボールを楽しみ、その中で技能や思考・判断が高まるようにしていきたい。

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

本学級の子どもたちは、学習意欲や課題解決能力が高く、めあてに対して努力する大切さを理解している子がたくさんいる。しかし、今までの体育学習において、めあて学習の経験が少なく、バスケットボールにおいて毎回自分に合っためあてをもって学習できると答えた子は9名だった。バスケットボールを体育や休み時間、球技運動部活動の練習(女子のみ5年時)で経験したことはあるものの、ボール操作のポイントや動き方などを理解していない子が多い。

本単元では、一人一人が今の自分に合っためあてをもてるように声をかけていく。自信がない子やできないと回答している子には、例示したり、教師と一緒に考えたりすることが必要である。授業の中で気が付いた技能のポイントやよい動きなどをクラスで共有し、チーム内に留まらず学級全体でバスケットボールの特性に触れるようにしていきたい。

子ども同士の関係は良好であり、普段から友達同士で教え合うことができている。ケンカや言い争いもほとんどなく、穏やかに学習することができる。しかし、学級の誰とでも積極的にかかわり合いができるかというところではない。今回のバスケットボールの学習を通して、チーム内での認め合いや励まし合いを奨励し、自分だけが楽しむのではなくみんなで楽しめるような雰囲気づくりを心がけ、子どもたち同士の関係をより深めていきたい。

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

子どもたちは、バスケットボールの経験は多少あるものの、技能は低い。特に低いのはシュートの技能である。実態調査では、守備や時間の制限がない状況であっても、シュートを決められない子が多かった。試しのゲームでは、パスをもらう場面で、動き方がわからず立ったままの状態だったり、動いてはいるもののボールをよく見ずに前後に走るだけだったり、攻めにつながる動きはほとんどの

子ができていない。

したがって、本単元では、シュートを練習する時間を確保し、試合の中で自信をもってシュートできるよう支援していく。シュートを決める楽しさを入り口にして、単元が進むにつれて、シュート以外のボール操作や動きの楽しさにも気付かせたい。そして、子どもたちのできるようになりたいと考える技能のポイントを積極的に提示すると同時に、練習を行う際は、他チームと競争できるものや試合につながる運動を経験させたい。

3 視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を理解した上で子どもたちが学習意欲や目標をもって取り組めるよう道すじを工夫する。

<手立て>

○ 少人数ゲームの設定

本学級の子どもたちは、バスケットボールの経験に大きな差があり、その差が技能差となって一部の子の意欲の低下につながっている。試しのゲームでは、ほとんどの子が楽しくバスケットボールの試合をできたが、一方で動き方がわからず楽しめない子も数名いた。

本単元では、ねらい①②ともに、全員がバスケットボールの楽しさを味わえるように3対3の少人数で試合を行っていく。試しのゲームは、4対4と3対3の両方を行ったが、試合の動きを見てみると、4対4では足が止まっている子どもや試合に参加していない子どもが多かった。3対3の試合では、観ている人数は増えてしまうが、攻めるときや守るときの一一人の必要性や重要性は増していた。動けるスペースが広がるので運動量も増える。人数が少ない分、空いているスペースを見付けやすく、ボールも受けやすい。空いているスペースを見付け、その場所に動いてボールを受ける経験を重ねることで、ボールを持たないときの動きを身に付けさせていきたい。同時に子どもたちがバスケットボールを楽しめないと感じる「ボールが来ないとき」を避けることもできる。また、パスを受けた後、相手が近くに来るまで時間がかかったり、ボールを受けた時点での相手との距離も遠くなったりしやすいので、ドリブルやシュートなどのボール操作においてもやさしくなると考えられる。コート内の人数が減るので、身体接触も少なくなり、ファウルの数も減る。ねらい②で作戦を考える際にも、動きが複雑化しすぎないので、考えやすく、効果もわかりやすい。少人数ゲームを繰り返すことで自分の役割もはっきりとして、自信をもって楽しむことができると考える。

○ シューティングタイムの設定

子どもたちの実態から、シュートの技能が低い子どもが非常に多い。バスケットボールの楽しさをシュートに感じている子が19名もいるが、ディフェンス、時間制限無しで10本中5本以下の子どもは半数以上だった。そこで、バスケットボールの試合に生かせるように、毎時間の始めにシュート練習の時間を設定する。ディフェンスや時間制限のない状態で、落ち着いてシュートが決められるように技能のポイントをアドバイスしたり手本を見せたりしていく。子どもたちのシュート技能の課題に合わせて、練習内容に時間制限をつけたり、ディフェンスをつけたりして変えていく。授業が進んでいき、シュート技能が向上したら、ねらい②では、チームの作戦を成功させるための練習をする時間に変えていきたい。

視点2 一人一人のよさを伸ばす学習を進めるための手だてを工夫する。

<手だて>

○ チームタイムの設定

本学級のほとんどの子がボールゲームで大切なことは、「チームワーク」や「みんなが楽しめるようにプレーすること」と考えている。そこで、ねらい①においてチームで協力し、みんなでバスケットボールを楽しむことができるようになったら、ねらい②では、試合と試合の間にチームで作戦を考える時間を確保していく。

作戦ボードや作戦カードを配布し、それらを使い、チームごとに「どうやって攻めるか」を話し合い、シュートにつなげるために一人一人の役割をはっきりさせる。攻め方に合った練習方法を考え、繰り返し練習することでチームのめあての達成につながり、バスケットボールの特性にさらに触れられると考える。作戦については、自由に考えさせ、子どもから出たものの中から、チームの特徴をとらえ、そのための一人一人の役割が明確なものを称賛していく。ねらい①での経験から、相手チームの特徴や自分たちの特徴をとらえて作戦を考えることができるようにする。

○ 観る視点と共有する場の設定

試合をしているときは、ボールに集中したり、あわてたりするため、なかなかよい動きに目が向かない。そこで、「ボールをもったときの動き」「ボールをもらうときの動き」「ディフェンスの動き」や「ドリブル」「パス」「シュート」などの試合を見るとき視点を与え、よい動きなどのポイントに気付かせたい。そして気付いたことを、振り返りの時間に共有するとともに、掲示物を作成し、教室や体育館に常に掲示し、クラス全員がいつでも確認しながら試合で活用できるようにしていく。

○ MVPの選出

チームの中でお互いのよさを認め合い、尊重し合っていくことがチームワークを高めることにつながる。そこで、ねらい①では授業の終わりにチーム内のMVPを決める。チームの中で一番活躍した人を選ぶだけでなく、頑張った仲間を見付けることで、チームの絆が深まると考える。また、ねらい②では、対戦したチーム同士で相手チームからMVPを選出させたいと考える。対戦したチ

ームの活躍や頑張りにも目を向けることで、学級全体で活躍や頑張りを称賛できるようにしていく。

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- 友達と協力して、ルールやマナーを守り、ゲームを楽しむことができる。
- 自分に合っためあてを立てたり、チームの友達と相談して作戦を立てたりすることができる。
- パス・キャッチ・シュートなどの技能を身に付けてゲームを行うことができる。

(2) 学習の道すじ

		1	2	3	4	5	6	⑦	8
0 ↓ 4 5	オリ エン テー ション	シューティングタイム				チーム練習			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ねらい① 簡単なルールで、マナーを守って、バスケットボールのゲームを楽しむ。(総当たり戦) </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ねらい② 作戦を立てて、バスケットボールを楽しむ。(対抗戦) </div>			
重点 評価 観点	関	○	○				○		
	思			○				○	
	技				○	○			○

5 評価規準 (概ね満足できる状況)

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
○バスケットボールに進んで取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ○用具の準備・片付けで分担された役割を果たそうとしている。 ○運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	○基本的なボール操作や動き方のポイントを知るとともに、自分の力に合っためあてをもっている。 ○自分たちのチームに合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。	○フリーの味方に取りやすいパスを出したり、出されたパスを落とさずに取ったりすることができる。 ○ゴールに体を向けて、シュートを打つことができる。 ○得点しやすい場所に移動してパスを受け、シュートを打つことができる。

6 学習内容と活動（本時7／8）

	学習内容と活動	教師の支援（○）・評価（◇）
はじめ	<p>1 オリエンテーション</p> <p>○学習のねらいや道すじを知り、学習の進め方の見通しをもつ。</p> <p>○安全やマナーについて理解し、運動の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの使い方 ・チーム編成 <p>○用具の準備や使い方、片付け方、安全について知る。</p> <p>○「パス」「ドリブル」「シュート」の基本的なフォームを確認する。</p> <p>○ルールやセルフジャッジの注意点を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【はじめのルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1チームは、男女混合6人（試合に出るのは3人） 6チーム ・1ゲーム6分（前半3分、ハーフタイム1分、後半3分） ・自チームのエンドラインから始める。 ・ラインを越えたら、そこから相手ボール。 ・取り合いになった場合（初めはジャンケン、次から交互） ・試合のないチームは得点と時間を計る。 ・審判は置かず反則はセルフジャッジとする。（トラベリング、ダブルドリブル、ラインクロス、ファウル） ・スローイン時はパスカットできない。 </div>	
	○次の学習のめあてを立てる。	
なか	<p>1 学習の場作りをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で集まってストレッチをする。 <p>① 2 シューティングタイム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○1チーム1ゴールを使いシュートを打つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ディフェンスや時間制限なし ②時間制限をつける ③パスを受けてから ④ディフェンスをつける </div> <p>3 今日めあてと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○チームで協力して行うように声をかける。</p> <p>◇用具の準備・片付けで分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○斜めからシュートするときは、バックボードを使ってシュートするようよう声をかける。</p> <p>○力の加減ができない子どもには、「ふわり」のイメージでシュートするよう助言する。</p> <p>○パスを受けたらディフェンスが来る前に素早くシュートしている子どもを称賛する。</p>

ねらい①

簡単なルールで、マナーを守って、バスケットボールのゲームを楽しむ。

[予想されるめあての例]

- ・ボールがもらえる位置に動いて、ゴールの近くまでボールを運び、落ち着いてシュートする。
- ・パスをだしたらすぐ走り、相手が戻る前にシュートまでつなげる。
- ・相手とゴールの間に立って、フリーでシュートを打たせない。

4 第1ゲームを行う。

前半3分
後半3分

	コート①	コート②
第1ゲーム	A対B	C対D
第2ゲーム	E対F	A対C
第3ゲーム	B対E	D対F

5 チームでゲームを振り返る。

- ・チームで活躍したり、頑張ったりした友達を称賛し合う。

6 第2ゲームを始める。

7 第3ゲームを始める

8 学習を振り返る。

◇基本的なボール操作や動き方のポイントを知るとともに、自分の力に合ったためあてを立てている。 【思考・判断】

○今までにでた技能のポイントを掲示物を見て確認し、試合で意識できるように助言する。

○はじめのあいさつやマナーがしっかり守れるように確認する。

○スペースを見つけて走ったり、相手を取りやすいパスをしたりしている子どもを称賛する。

○動きにとまどっている子には、パスをもらいやすい場所に移動することや、声を出すことを助言したり、一緒に動いたりする。

◇ルールやマナーを守り、友達と助け合ってゲームをしようとしている。

【関心・意欲・態度】

◇フリーの味方に取りやすいパスを出したり、出されたパスを落とさずに取ったりすることができる。 【技能】

◇ゴールに体を向けて、シュートを打つことができる。 【技能】

○次の試合に生かすためによかったことや反省、課題を話し合うように助言する。

○うまくいかなかったことを解決できるように、資料の活用を促す。

○前の試合での反省や課題を改善しようとしている子を賞賛する

○活躍した人だけでなく、頑張った友達を称

	<p>○学習カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては達成できたか。 ・チームワークよく、ゲームできたか。 ・自チームの MVP を見つけることができたか。 <p>○困ったことや頑張ったことを発表する。</p> <p>9 後片付けをする。</p>	<p>賛し、MVP がいつも同じ人にならないよう助言する。</p> <p>○どうしてうまくいったのか、どうしてうまくいかなかったのか、次回はしたらよいか考えられるよう声をかける。</p> <p>○子どもからでた技能のポイントを掲示物に記入し、共有できるようにしていく。</p> <p>◇用具の片付けで分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】</p>																
<p>な か ② 5 6 7 (本時) 8</p>	<p>1 学習の場作りをする。</p> <p>2 チームで準備運動をする。</p> <p>3 作戦を試合で生かせるように練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートの成功率の高い○さんにゴール前でのパスを集めよう。そのために△さんと□さんとで三角形を作って攻めよう。 ・ドリブルの上手な○さんがボールをゴール近くまで運び、ディフェンスを引き付けたところでパスをもらいシュートを決めよう。 ・○さん（相手）がボールを持ったら、近くの2人でマークしよう。残りの1人で相手2人を見て、ゴール下中心に守り、遠くからシュートを打たせよう。 <p>4 今日の学習のめあてと進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ねらい② 作戦を立てて、バスケットボールを楽しむ。</p> </div> <p>5 第1ゲームを始める。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: none;">前半2分</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">コート①</td> <td style="border: none;">コート②</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">後半2分</td> <td style="border: none;">①</td> <td style="border: none;">A対B</td> <td style="border: none;">C対D</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">②</td> <td style="border: none;">C対D</td> <td style="border: none;">E対F</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">③</td> <td style="border: none;">E対F</td> <td style="border: none;">A対B</td> </tr> </table>	前半2分		コート①	コート②	後半2分	①	A対B	C対D		②	C対D	E対F		③	E対F	A対B	<p>◇用具の準備で分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○作戦カードを見ながら、作戦の動きに合わせて練習しているチームを称賛する。</p> <p>○ねらい①で練習したものや、いくつかの例示の中から選べるよう指示する。</p> <p>○作戦を生かした練習ができてきているか確認する。</p> <p>○作戦に生かせる練習がわからないチームには、どの練習が効果的か一緒に考え助言する。</p> <p>○はじめのあいさつやマナーがしっかり守れるように確認する。</p> <p>○次のプレーを予測して動いている子を称賛する。</p> <p>○マークが振り切れない場合は、フェイントをかけたり、スピードに緩急をつけて動くことを助言する。</p>
前半2分		コート①	コート②															
後半2分	①	A対B	C対D															
	②	C対D	E対F															
	③	E対F	A対B															



相手の守りが上手になったから、パス、ドリブル、シュートにフェイントをいれたり、素早い動きをいれたりしてみよう。

- 6 チームタイム（2分）
 - ・作戦がうまくいき、たくさん得点できたので、同じ作戦でいこう。
 - ・同じ作戦で行くが、細かいところを変えてみよう。（役割やポジション）
- 7 同じ相手と第2ゲームを始める。
- 8 チームタイム（3分）
- 9 同じ相手と第3ゲームを始める。
- 10 学習を振り返る。
 - 学習カードに記入する
 - ・作戦成功のための自分の役割は達成できたか。
 - ・自チームや相手チームの MVP を見付けることができたか。
 - 困ったことや頑張ったことを発表する。

- 味方がフリーになった瞬間を見逃さずに、パスを出している子を称賛する。
- シュート時のポジショニングを意識し、リバウンドをとれる場所を指示する。

◇自分たちのチームに合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。

【思考・判断】

○作戦がうまくいっているかどうかの判断は主に得点によるものだということを助言する。

○うまく考えられないグループは、教師と一緒に考える。

◇進んで作戦を立て直し、次の試合に生かそうとしている。

【思考・判断】

○チームに必要な練習や、作戦の反省を言えるように助言する。

◇フリーの味方に取りやすいパスを出すことができる。

【技能】

◇ボールをゴールに近づけることを意識して、ボールがもらえるより良い位置に動き、出されたパスを落とさずに取ることができる。

【技能】

○作戦の効果や反省を話し合っているチームを称賛する。

◇友達によかったプレーを、進んで発表できている。

【関心・意欲・態度】

作戦の効果はあったかな？作戦を成功させるために次回はチームでどうするか、個人でどうするか考えよう。



	1 1 後片付けをする。	◇用具の準備・片付けで分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】
ま と め	1 学習のまとめをする ○楽しくバスケットボールの学習ができたか。 ○協力して練習やゲームができたか。 ○相手を思いやり、マナーを守って学習できたか。 ○安全に気を付けて活動できたか。 ○自分に合っためあてをもち、学習できたか。 ○作戦を工夫できたか。 ○相手の守りをうまくかわし、たくさん得点できたか。	